

国際医療福祉大

スポニチキャンパス

理学療法学科 Para Sports Club

夢のサポーター選手

福岡県大川市の国際医療福祉大には、理学療法学科の学生が所属する Para Sports Club(通称・PSC)がある。同科では1年次に初級障がい者スポーツ指導員、3年次に中級障がい者スポーツ指導員の資格を取得できる。この特色を生かし、PSCは学外で指導員としての技術を磨くこと、地域に貢献することを目的に活動。今回は車いすツイバスケットボールの運営スタッフとして協力する模様を中心に取り上げる。(杉浦 友樹)

車いすツイバスケットチーム運営スタッフとして協力



博多パトラスシュの選手とPSCのメンバー。①体育館で車いすバスケの練習をするPSCの学生たち。②難しい競技用車いすの操作



テキパキと練習準備
大川市内の体育館。車いすツイバスケットボールチーム、博多パトラスシュの選手が姿を現すと、学生はテキパキとサポート態勢に入る。脊髄を損傷し、その影響が下肢だけでなく上半身にも及んでいる選手は多い。自力で競技用の車いすに乗る、あるいは乗り換えることが難しい。学生はそれを手伝うほか、車いすに空気を入れる、テーピングをするなど練習準備を担う。

江原部長を見て「迫力に圧倒された」

競技用車いすの操作難しさ実感
部長の江原杏菜(3年)は1年次の12月に車いすバスケットボールの九州大会を観戦し、「とにかく迫力に圧倒された」と競技に興味を持った。試合中に激しくぶつかった倒れる選手がいた。それを見た相手チームの選手が車いすを立て直して、助ける姿が今でも目に焼き付いている。「いい試合を見られたなと思った」と振り返る。

江原は中学時代はバスケットボール部。三浦高ではカヌー部に所属し、15年の和歌山国体の個人戦で決勝まで進み全国9位に入った。理学療法学科に進学し、



とまをクラブを始める江原部長



就任。博多パトラスシュの運営を手伝うほか、障がいを持つ子供を対象にする教室の活動内容を企画している。どんな運動、競技が安全かつ興味を持って取り組んでもらえるか。「輪投げ」のやり方一つから、みんな得意を見出し、当日は大成功。「凄く勉強になった。周りをよく見て動く大切さを学んだ」という。

競技用の車いすに乗ることもある。容易に方向転換できるよう、正面から見ればタイヤが八つの字に配置されており、一般的なものより直進させるのは難しい。また、ブレーキがなく、胸部や腹部をベルトで固定する仕様だ。「普通の車いすと比べてコントロールが難しい。ドリブルするのも大変だった」とプレヤーの凄さが分かったそうだ。

理学療法学科では3、4年次に外部で8週間わたる長期臨床実習を2度経験する。ただ、PSC顧問の下田武良助教によると、「脊髄損傷の患者さんの多くは専門の施設に行くので(実習の)臨床現場ではあまり見ないです」と話す。障がい者スポーツは日常生活に戻った人が行うもの。そのため「病院から社会に戻ってどういう生活をしているのかを見てほしい」と学生に求めている。

PSCは現在、理学療法学科に籍を置く1、4年の135人で構成され、不定期で活動する。もともと博多パトラスシュのトレーナーだった下田助教はPSCの中にバスケット部門を作った。同部門の約10人は多くがバスケット経験者。一緒に競技用の車いすに乗って練習に参加し、汗を流している。

活動のペースが出来上がったのは14年。JICA(国際協力機構)から「障がい者スポーツ指導員」使える資格に「PSCは現在、理学療法学科に籍を置く1、4年の135人で構成され、不定期で活動する。もともと博多パトラスシュのトレーナーだった下田助教はPSCの中にバスケット部門を作った。同部門の約10人は多くがバスケット経験者。一緒に競技用の車いすに乗って練習に参加し、汗を流している。」と学生に求めている。

「障がい者スポーツ指導員」使える資格に「PSCは現在、理学療法学科に籍を置く1、4年の135人で構成され、不定期で活動する。もともと博多パトラスシュのトレーナーだった下田助教はPSCの中にバスケット部門を作った。同部門の約10人は多くがバスケット経験者。一緒に競技用の車いすに乗って練習に参加し、汗を流している。」と学生に求めている。

「障がい者スポーツ指導員」使える資格に「PSCは現在、理学療法学科に籍を置く1、4年の135人で構成され、不定期で活動する。もともと博多パトラスシュのトレーナーだった下田助教はPSCの中にバスケット部門を作った。同部門の約10人は多くがバスケット経験者。一緒に競技用の車いすに乗って練習に参加し、汗を流している。」と学生に求めている。

「障がい者スポーツ指導員」使える資格に「PSCは現在、理学療法学科に籍を置く1、4年の135人で構成され、不定期で活動する。もともと博多パトラスシュのトレーナーだった下田助教はPSCの中にバスケット部門を作った。同部門の約10人は多くがバスケット経験者。一緒に競技用の車いすに乗って練習に参加し、汗を流している。」と学生に求めている。

理学療法士 病気、ケガ、加齢などの要因により、身体機能に障がいを持つ人に対し、基本動作能力(座る、立つ、歩くなど)の回復を図るため、運動療法や物理療法(温熱、電気などを治療目的に用いる)を施す。健康な状態に回復し、自立した生活を送れるように支援する医学的リハビリテーションの専門職。

国際医療福祉大 大川キャンパスは05年4月に大川市榎津に開設。同キャンパスに福岡保健医療学部があり、理学療法学科、作業療法学科、言語聴覚学科、医学検査学科を専攻できる。隣接するのは506床の高木病院。キャンパス周辺に医療、リハビリテーション、在宅での看護、介護などさまざまな医療福祉サービスを提供するグループ施設がそろい、医療福祉を学ぶ最適な環境が整っている。

バスケット経験者松尾積極的に
〇…松尾玲(あきら、2年)は小中、大学でバスケットボール部に所属している。経験者らしく車いすに乗って一緒に汗を流す姿は俊敏に映る。それでも本人は「感覚が違うから難しい」と話す。博多パトラスシュの練習ではサポートも欠かさない。「自分から声をかけて、できることを探します。自分から進んで動くことが大事。将来の夢はもちろん理学療法士になること。「コミュニケーションを取れる人になりたい」と誓った。